

国立市立国立第四小学校 令和2年度 第5学年 授業改善プラン

教科	観点	課題	具体的な手立て・改善策
国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の内容を正確に読み取り、表現する力に課題がある児童がいる。</li> <li>話し合いの進め方が身に付いていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>国語以外の他教科の文章を音読する機会を設けるとともに、読書の習慣が身に付くようにする。</li> <li>「話す・聞く」の単元では、相手を意識して構成を考えて話すようにさせる。聞き手は、話し手の意図を考えながら聞くことを意識させる。話し合いの手順や役割等を示し、円滑に話し合いができるようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
社会	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラフや図の読み取りが身に付いていない児童がいる。</li> <li>資料から読み取ったことを比較したり考察したりするのが苦手な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型テレビにグラフや図を提示して読み取りの練習をすることで、グラフや図の読み取りに慣れさせる。</li> <li>読み取った情報を全体で共有し、比較考察する時間を増やす。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
算数	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解したつもりになることが多く、求められている解答を正確に出すことができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>じっくり問題と向き合う習慣をつけるとともに、見なおす習慣を身に付けられるようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
理科	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項の定着が十分でないため、予想をたてる時に、既習事項を想起するのが難しい児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を確認してから新しい単元の学習を始める。また、観察・実験したものはよく理解できている傾向にあるため、必然性をもたせてながら行うようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
音楽	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>拍にのってリズムを打つことが苦手な児童がいる。</li> <li>鑑賞において、感じたことを音楽的な特徴と関連付けて理解することに課題がある児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>拍子を感じ取るために音楽に合わせてリズムを打ったり、身体表現をさせたりして拍感を身に付けられるようにする。</li> <li>感じ取ったことと音楽的な特徴との関わりについて日常的に意識させるように働きかける。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
図画工作	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能は全体的に高いが、全体指導ですべてを把握することが身に付いていない児童が見られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々なヒントを示し、児童が作品をよりよいものにできるようにする。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
家庭科	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>裁縫の「玉止め」、「玉結び」などの技能が習得できていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人差に対応できるよう、デジタル教材を用いて視覚的にも技能を習得できるような環境を整える。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
体育	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能の習得について、それぞれのポイントが身に付いていない児童がいる。</li> <li>勝ち負けにこだわりすぎてしまう児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>NHK for schoolなどの動画教材を使用したり、段階に応じてポイントを説明したりすることで、技能の習得に役立てる。</li> <li>自分だけでなく、友達やチームのために考えて動くことの大切さを指導する。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		
外国語	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>外国語の知識に個人差があり、学習に対して、難しいと感じている児童がいる。</li> <li>積極的にコミュニケーションを取ろうとする児童がいる一方、表現することに戸惑いを感じる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>取り組みやすい簡単な活動を取り入れ、自信をもって表現できるようにする。</li> <li>本時の重要表現を黒板に掲示し、歌やゲームを通して慣れ親しんだり、ALTと繰り返し練習したりする。</li> </ul>
	思考・判断・表現		
	主体的に学習に取り組む態度		